



衆議院議員

坂本ゆうのすけ

おおぞら通信 No.29

発行

民進党埼玉県第10区総支部

〒355-0016

埼玉県東松山市材木町20-9

TEL 0493-22-3682

FAX 0493-81-3386

政府・与党 年金カット法案 強行採決!!

11月25日、政府・与党は衆議院厚生労働委員会で、29日は衆議院本会議で、「公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等一部改正案」（いわゆる年金カット法案）の採決を強行しました。この法案は年金に頼って生活している高齢者にとっては“死活問題、です。また、世論調査を見ても国民の理解は進んでおりません。審議時間も短く、採決を急ぐ理由がわかりません。民進党は年金カット法案に反対し、今回の国民無視の強行採決に抗議します。

国民年金4万円、厚生年金14万円カット

これまで日本の年金は、物価が上がったら年金も増える仕組みでした。ところが年金カット法案は、常に物価と賃金の低い方に年金額を合わせるので、物価が上がっても賃金が下がれば、年金も下がってしまいます。仮に、過去10年間の物価と賃金に年金カット法案を当てはめると、率にして5.2%カット、国民年金の方は年間4万円、厚生年金の方は年間14万円も年金が減ってしまう計算になります。一度減った年金は元に戻らず、年金が物価に比べて減り続ける仕組みです。この法案は、現役世代や将来世代の老後にも適用され、年金がカットされます。

将来世代の基礎年金は

年金カット法案で

3割も減る

将来世代の年金は増えない

将来の基礎年金は、所得代替率で見ると現在より約3割減ることが、見込まれています。マクロ経済スライドという、年金切り下げ制度が、2043年まで続くのです。これでは、年金「財政」は100年安心でも、将来の「年金額」は全く足りません。生活保護受給者のうち、高齢者の割合が、今年ついに50%を超えました。老後の生活に必要な最低限の金額をどう保障するか議論を置き去りにしたままでは、将来の生活保護が激増するだけです。

政府は当初、年金カット法案の影響額を、計算すらしていませんでした。我々が試算を出すように要求して、あわてて2週間遅れで出して来たのが、「高齢世代は3%減るが、将来世代は7%も増える」というデータラメな試算です。政府の試算は「今後100年間で年金カット法案が一度も発動しない場合」という前提で、年金カット法案が発動した場合の影響額とは全く関係ない、無意味な試算です。大臣も年金カット法案で将来世代の年金は増えないと答弁で認めています。

抜本改革の議論をはじめよう!

真面目に数字を分析すれば、日本の年金制度には抜本改革が必要です。しかし政府は、極めて楽観的な将来予測を示すだけで、本来やるべき年金の根本的な改革を先送りしてきました。我々は将来もし低年金になってしまっても、老後の生活に必要な最低限の金額は保障される、そのための財源を、高所得の高齢者にもご負担いただくなどの抜本改革が必要だと考えます。政府・与党は、その場しのぎの年金カットではなく、こうした抜本改革に取り組むべきです。

坂本ゆうのすけの政策

1. 「分配と成長」を両立させる経済政策へ転換。「人への投資」を充実させ、格差解消を目指します!!



2. 教育無償化をはじめとする教育政策、子育て支援の充実を推進します!!



3. 原発ゼロを目指します!!



**4. 企業・団体献金は受け取りません!!
併せて禁止を訴えてまいります!!**

プロフィール



<現職>

民進党 ・総務局長
・ネクスト総務副大臣
・ネクスト内閣府特命副大臣（地域主権改革・地方再生担当）

衆議院 地方創生に関する特別委員会 筆頭理事

衆議院 文部科学委員会 理事

衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員

- ・日本体育協会 理事
- ・日本スポーツ少年団 本部長
- ・全日本スキー連盟 副会長
- ・埼玉県体育協会 名誉会長
- ・東松山市体育協会 会長
- ・東松山市レクリエーション協会 会長

<経歴>

民進党 副代表

衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員長

維新の党 両院議員総会長

日本維新の会 筆頭副幹事長

東松山市長（4期16年）

<学歴>

県立松山高等学校・日本大学文理学部 卒業

民進党 党員・サポーター募集中!!

お問い合わせは第10区総支部まで!!

日々の活動はwebへアクセス!

さかもとゆうのすけ ブログ

検索